

画音障害検知システム

STBWatcher

「送出は正常」—— 本当に、視聴者にちゃんと届いていますか。

口視聴者と同じ受信点で、映像・音声を見張る。放送監視の、新しい入口。

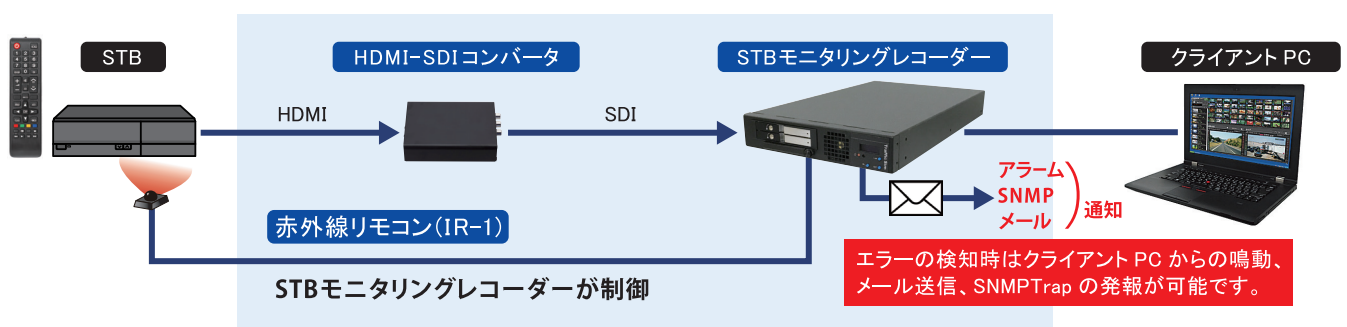


STBWatcher は、視聴者が実際に使うセットトップボックス（STB）の出力＝“受信点”の映像・音声を監視する受信監視システムです。

放送を送り出す信号が正常であること。それは監視の到達点ではなく、あくまで出発点です。信号は、このあと STB で受信・デコードされ、画面に表示されて初めて視聴者に届きます。送出側の監視は、その先までは見通せません。STBWatcher は、送出監視では見えない“最後の一区間”を、視聴者と同じ受信点から見張ります。

画面が真っ黒になる「ブラックアウト」、映像が固まる「フリーズ」、音声が消える「無音」。視聴者の視聴体験を損なうこの3つの障害を、システムが常時監視します。

接続イメージ



特長

■1台で最大98chをまるごと巡回監視

STB が一度に出力できるのは、1ch だけ。そこで STBWatcher は、学習型赤外線リモコンでチャンネルを自動的に切り替えながら、指定した複数のchを順に巡回して監視します。1台で標準 98ch に対応。監視するchも、監視するしきい値も、巡回する順番も、運用に合わせて自由に登録できます。異常を検知したら、メール送信、SNMP Trap、クライアント PC の鳴動で、運用者に伝えます。



■ 現場で“使える”精度と効率を追求

・ 特許取得の検知方式

指定した監視秒数を待たずに障害を判定し、次の ch へ。
待ち時間を抑え、より多くの ch を効率よく巡回できます。

・ ch別の監視閾値

チャンネルごとに検知感度を個別設定。番組特性に合わせた監視ができます。

・ マスク設定

テロップやロゴなど監視から除外したい領域を指定し、主映像の障害だけを的確に捉えます。

・ 仮判定(次周回で確定)

例えばエンドロール時のブラックアウト検知など、1 回目の検知は即エラーとせず、
次の周回でも異常なら確定とし、誤報を抑えます。

・ 同時録画

巡回と並行して収録。巡回時 / エラー時の状況をワンクリックで再現できます。

■ ブラウザから、STBを直接操作

リモート操作モードでは Web ブラウザ上に、STBのリモコンが表示されます。

ボタンを押せば、離れた場所からでも STB を手元で操作。

障害が起きた ch をすぐ呼び出して状況を確認める、

対処後にきちんと復旧したかを確認する —— そんな運用が、席を立たずに完結します。

※ リモート操作中は、巡回監視を停止します。

■ こんな用途にも

- ・ データ放送内で送出されるラジオ放送の「無音監視」にも活用できます。
- ・ 「まずはコストを抑えて監視を始めたい」に応える一台。放送監視の第一歩は、ここから。

画面イメージ



●掲載された内容、画面例は製品の改良のため予告なく変更することがあります



Traffic Sim Co.,Ltd. 株式会社トラフィック・シム

〒453-0801 名古屋市中村区太閤一丁目 19 番 56 号
TEL 052-526-5162 / <https://www.trafficsim.co.jp>



製品デモ / テスト機貸出行っております
実際の商品をお試し頂けます
お気軽にお問合せください